

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆24年度の国の決算剰余金は2.3兆円 赤字国債発行を5兆円抑制

・2024年度の国の一般会計の決算剰余金がおよそ2.3兆円になることがわかった。税収が見込み額よりも上振れしたほか、予算計上したものの結果的に使わなかった分があった。赤字国債の発行は予定よりも5兆円程度抑制した。税収は75.2兆円程度と前年度に比べて4%増加し、5年連続で過去最高を更新した。

◆6月前半の消費2.9%増、映画などサービス好調 民間調査

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく6月前半の消費データを発表。名目で前年同期と比べて2.9%増えた。飲食料品や医薬品・化粧品小売業が好調だった。サービス消費は3.9%増えた。個別項目でみると映画館の消費が大きく増加し、前年同期比55.8%増えた。モノの消費は2.0%増だった。

◆地価「東京」1強 全国最高8%上昇、人口や投資増でマンション需要

・東京の地価が「一人勝ち」の状態になっている。国税庁が1日発表した2025年の路線価(1月1日時点)で、東京都の標準宅地の平均上昇率は全国最高の8.1%だった。全国平均の2.7%に比べて3倍の伸びとなった。地方や海外から人口が流入し、マンションの需要拡大が続く。海外からの投資マネーも価格上昇に拍車をかけている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆設備投資額、全規模全産業で6.7%増 日銀短観6月

・日銀が公表した全国企業短期経済観測調査(短観)では、企業の設備投資への意欲が堅調に推移していることが明らかになった。2025年度の設備投資額の計画は全規模全産業で前年度比6.7%増加する見通しで、3月調査時点の0.1%から上方修正となった。過去25年間の6月調査の平均の伸びは上回り、堅調さを保っている。

◆ダイキン、大阪万博で熱中症対策 大型冷凍機に24時間修理対応

・ダイキン工業が大阪・関西万博で猛暑対策のための体制を整えている。各施設に空調用の冷水を送る大型冷凍機を導入したほか、24時間修理に対応する窓口や専任人員も用意した。夏休みシーズンを迎え、多くの来場者が見込まれるとともに熱中症対策が急務になっている。

◆長期優良住宅、累計173万戸に 新築戸建は5年連続過去最高

・国土交通省が発表した長期優良住宅の認定状況によると、2024年度は新築の戸建て住宅で13万6842戸、共同住宅で8231戸、合計14万5073戸を認定。このうち新築戸建ては5年連続で過去最高を更新。新設住宅着工戸数に対する認定戸数の割合は17.8%で、前年の14.5%から3.3ポイント増加。2009年からの累計は173万5808戸。

《 注目商品 》

■リンナイ、ビルトインガスコンロ「DELICIA(デリシア)」モデルチェンジ

・ビルトインガスコンロ「DELICIA(デリシア)」の「操作部シンプルタイプ」をモデルチェンジし、8月1日発売。操作パネルの視認性を向上させるとともに、「DELICIA」の人気のオート調理メニューである「リベイク機能」を追加。



■YKK AP、東京ガスと協業 太陽光発電×樹脂窓の新サービス

・太陽光発電と高断熱窓などの建材を組み合わせるエネルギー効率の高い住宅を実現する新築戸建て向けサービス「マドそらwith IGNITUREソーラー」の提供を開始。「IGNITURE(イグニチャー)ソーラー」と高断熱樹脂窓「APW」シリーズと組み合わせる。



■サンワサプライ、地震からモニターを守る転落防止ベルト

・地震によるモニターの転倒や落下を防止するベルト「200-QL026」を発売。耐震試験済みで震度6強の揺れまで対応。取り付けには強力な粘着パッドを使用。モニターと机に貼り付けるだけで設置が完了。着脱バックルで設置後のモニター移動も簡単。

